

平成27年度

教育委員会点検・評価報告書
(対象:平成26年度事業)

平成27年12月
田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、平成26年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施について

(1) 対象事業

平成26年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「平成26年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価基準)

A: 目的に対し、順調に事業が達成できた。

B: 事業の進め方等に改善の検討はあるものの、概ね(8割程度)目的を達成できた。

C: 目的の一部(5割程度)は達成できたが、事業の改善が必要である。

D: 事業の抜本的な見直し、休・廃止の検討が必要である。

(評価委員)

伊場 恭子(元中学校教諭、前町教育委員)

平永 俊明(元小学校長、前城南公民館長)

田中 章(元町学校教育課長)

3 点検及び評価の結果について

別紙のとおり

4 学識経験者の知見について

(1) 評価全般について

学力・体力について、県内トップレベルの水準であるのは十分評価できる。今後も維持されるよう努力してほしい。

いじめ、不登校について、児童生徒人数等から考えると非常に多く懸念される。早期発見、早期対応を図っていただき、ひとりでも解消できるよう支援体制の強化を図っていただきたい。

施設等の老朽化対策や耐震化については、今後、年次的計画的に実施していただきたい。特に、中央公民館の耐震化工事又は移転の検討を急がれたい。

(2) 施策、事業ごとの知見

【学校教育の充実】

No.1 教育委員会運営事業

小学校の適正配置について、今後も十分精査され進めていただきたい。

No.2 スクールバス運行事業

児童生徒の登下校等、安全安心な運行をしていただきたい。また、老朽化に伴うバスの買い替えについては十分に検討され、早期購入が望ましい。

No.5 中学校管理事業

築後20年以上経過し、補修箇所が多く見受けられる。今後は、学校環境整備を整えるとともに、早期の大規模改修をしていただきたい。

No.11 生徒指導推進事業

地域との連携(コミュニティ・スクール)を十分図っていただき、それぞれの課題の解消に向けて努力していただきたい。

No.15 キャリア教育推進事業

キャリア教育、志教育については、まだ定着してないと見受けられる。今後は、はっきりと方向性を見据え、取り組んでいただきたい。

【社会教育施設の充実】

No.18 地域協育ネット推進事業

放課後子ども教室の全小学校区での開催(麻郷小、城南小の立上げ)を目指して取り組んでいただきたい。

【豊かな文化の継承と創造】

No.22 地域公民館まつり開催事業

多数の地元住民が参加しているが、より多くの若年層の参加、また企画の工夫が望まれる。

No.27 埋蔵文化財調査事業

調査事業の内容・成果を広く一般に周知・広報していただきたい。

5 今後の取組について

事業の点検及び評価の結果を的確に反映し、より効果的・効率的な教育行政が展開できるよう、学識経験者の知見を踏まえ、事業の不断の見直し、改善を進めます。

事業の実績や成果をその目的又は目標に照らし、有効性、必要性、効果性及び公平の観点から、より客観的に評価できるよう「事業の点検・評価票」の内容について検討を進めてまいります。「道徳教育」「学力向上」「体力向上」に重点を置いた「田布施町の教育」の取組をより強化します。

事業の点検・評価一覧表

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
1	教育委員会運営事業	1,853	A	学校教育課
2	スクールバス運行事業	11,964	B	
3	小学校管理事業	35,163	B	
4	小学校教育振興事業	3,466	A	
5	中学校管理事業	12,573	B	
6	中学校教育振興事業	3,567	A	
7	保健関係事業	4,456	A	
8	就学援助事業	15,032	A	
9	教員補助者設置事業	4,367	A	
10	幼稚園就園奨励費事業	16,829	A	
11	生徒指導推進事業	1,032	B	
12	学力向上推進事業	—	A	
13	体力向上推進事業	—	A	
14	特別支援教育推進事業	997	B	
15	キャリア教育推進事業	—	B	
16	学校給食センター運営事業	77,894	A	
17	生きがい教室開催事業	262	A	社会教育課
18	地域協育ネット推進事業	947	B	
19	成人式開催事業	434	A	
20	人権教育促進事業	412	A	

No	事業の名称	経費 (千円)	評価	担当課
2 1	地域人権教育促進事業	1, 104	B	社会教育課
2 2	地域公民館まつり開催事業	430	B	
2 3	公民館運営事業	17, 263	A	
2 4	公民館施設管理事業	16, 432	B	
2 5	図書館管理運営事業	19, 334	A	
2 6	郷土館管理運営事業	7, 783	B	
2 7	埋蔵文化財調査事業	53, 309	B	
2 8	スポーツ推進体制強化事業	480	A	
2 9	生涯スポーツ推進事業	2, 551	A	
3 0	我がまちスポーツ推進事業	600	A	
3 1	スポーツセンター管理運営事業	116, 404	A	

事業の点検評価票(学校教育)

No.1

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	教育委員会運営事業		
事 業 の 概 要	教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等		
事 業 の 実 績	・教育委員会会議及び協議会:7回 ・教育委員学校訪問:11月11日(小学校5校、中学校1校、給食センター) ・教育委員研修会等 ①山口県市町教育委員会委員研修会:4月16日(山口市) ②山口県教育委員会協議会・山口県教育長会合同定例会:3月25日(山口市) ・田布施町小学校の適正配置による再編 麻里府小学校閉校に伴い、麻郷小学校と統合 【経緯】 5月 麻里府小学校保護者との懇談会 9月～10月 保護者宅家庭訪問 11月 PTA全体集会、麻里府地区自治会への報告会 12月 麻里府小学校統合について議会報告 3月 麻里府小学校閉校 ・その他教育関係行事(小中学校入学式・卒業式・運動会、麻里府小学校閉校式、田布施町教育委員会表彰等)への出席		
事 業 の 経 費	1,853千円		
事業の成果と課題	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。		
評 価	A		

No.2

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	スクールバス運行事業		
事 業 の 概 要	遠距離通学となる児童の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス2台を交通業者に委託。		
事 業 の 実 績	対象児童生徒の登下校及び総合的な学習活動や中学校クラブ活動に利用 ・田布施西小学校1台(対象人数:11人) ・東田布施小学校1台(対象人数:19人) ・スクールバス運行委託料 5,369 千円 ・スクールバス修繕料 742 千円 ・スクールバス1台購入 5,853 千円		
事 業 の 経 費	11,964千円		
事業の成果と課題	遠距離通学の児童の通学条件の緩和や登下校の安全が図られた。購入から20年以上経過した車両が1台あり、老朽化に伴い修繕も増加し、安全面から考慮すると早期の買い替えが望ましい。また、麻里府小学校廃校に伴い、スクールバス1台購入し、新年度より麻里府便が運行開始。		
評 価	B		

No.3

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	小学校管理事業		
事 業 の 概 要	所管する5小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う。		
事 業 の 実 績	・光熱水費 9,153 千円 ・点検管理業務等の委託 13 件 5,274 千円 浄化槽、校舎清掃業務等 ・各小学校修繕費 3,092 千円 ・空調設備設計管理委託料 2,160 千円（東田布施小、城南小） ・空調設備工事費 15,484 千円（東田布施小、城南小） ・平成 26 年度末耐震化率 100%		
事 業 の 経 費	35, 163千円		
事業の成果と課題	生徒の安全及び良好な教育環境を確保するために、学校施設の修繕等の早急な対応に取り組んだ。また、職員室等の空調も今年度で小学校は全て完備した。耐震化についても、麻里府小学校統合に伴い100%となった。 なお、非構造部材（屋内運動場の吊り天井等）の撤去や補強については、来年度から計画的に実施する。		
評 価	B		

No.4

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	小学校教育振興事業		
事 業 の 概 要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。		
事 業 の 実 績	・総合学習における講師謝金 51 千円 ・副読本増刷「わたしたちの田布施」756 千円 ・バス借り上げ料 208 千円 （水泳記録会、陸上記録会、音楽祭） ・理科教育設備整備事業 912 千円 ・図書購入費 849 千円 ・各種負担金、補助金 690 千円 教職員研修会等		
事 業 の 経 費	3, 466千円		
事業の成果と課題	副読本「わたしたちの田布施」を修正増刷し、新年度に3年生に配布し郷土についての歴史や偉人についての学習を図っていく。また、理科教育設備整備事業において備品等の整備を図った。今後、計画的に更新が必要である。		
評 価	A		

No.5

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	中学校管理事業		
事 業 の 概 要	所管する中学校の施設の維持管理及び学校設備等の整備を行う。		
事 業 の 実 績	・光熱水費 5,686 千円 ・点検管理業務等の委託 9 件 4,013 千円		

	浄化槽、校舎清掃業務等 ・修繕費 2,874 千円
事業の経費	12, 573千円
事業の成果と課題	生徒の安全及び良好な教育環境を確保するために、学校施設の修繕等の早急な対応で取り組んだ。 今後は、築20年以上経過しているため、大規模改修を視野に、屋上や外壁等の修繕、空調等を整備していく。
評価	B

No.6

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	中学校教育振興事業		
事業の概要	生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合学習等関係経費、教職員研修会等への補助金。		
事業の実績	・総合学習における講師謝金 17 千円 ・バス借上げ料 67 千円 - 吹奏楽部コンクール出場(1台) ・理科教育設備整備事業 346 千円 ・図書購入費 539 千円 ・部活動備品 435 千円 ・各種負担金、補助金 2,163 千円 - 教職員研修会、部活動助成等		
事業の経費	3, 567千円		
事業の成果と課題	理科教育設備整備事業において備品等の整備を図った。今後は理科備品、部活動備品等、計画的に更新をしていく。		
評価	A		

No.7

施策名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事業の名称	保健関係事業		
事業の概要	学校保健安全法に基づく小中学校児童生徒や教職員の各種診断。		
事業の実績	・教職員健康診断(基本検診)548 千円 ・教職員健康診断(胃検診)303 千円 ・教職員健康診断(結核検診)139 千円 ・児童生徒心臓検診(小1年・4年、中1年)827 千円 ・就学時健康診断 756 千円 ・児童生徒健康管理 1,883 千円		
事業の経費	4, 456千円		
事業の成果と課題	児童生徒の健康管理については、関係機関と連携を図りながら、迅速な対応をしている。		
評価	A		

No.8

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	就学援助事業		
事 業 の 概 要	経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。		
事 業 の 実 績	・小学校 学用品費 133 人 2,665 千円 医療費 11 人 66 千円 給食費 135 人 5,912 千円 ・中学校 学用品費 65 人 3,142 千円 医療費 2 人 33 千円 給食費 65 人 3,214 千円		
事 業 の 経 費	15, 032千円		
事業の成果と課題	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して、必要な援助を与え、適正に運営している。		
評 価	A		

No.9

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	教員補助者設置事業		
事 業 の 概 要	障がい傾向にある児童生徒が、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。		
事 業 の 実 績	・配置校及び人数 麻郷小学校 1名 田布施西小学校 2名 東田布施小学校各 2名 城南小学校 1名 計 6名		
事 業 の 経 費	4, 367千円		
事業の成果と課題	知的的又は障がいの児童が普通学級に何人か在籍しており、年々増加傾向にある。その児童の教育環境を整えるためにも、その他の児童生徒の授業の障害とならないよう教員補助者を各学校に配置している。 今後も、各学校の状況を把握し増員を含めた対応をしていく必要がある。		
評 価	A		

No.10

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	幼稚園就園奨励費事業		
事 業 の 概 要	家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担を軽減するため、幼稚園の入園料及び保育料について、その一部を補助する。		
事 業 の 実 績	平成26年度は町内在住の園児142人を対象に保育料等の一部を補助した。		
事 業 の 経 費	16, 829千円		
事業の成果と課題	保護者の所得状況に応じて、入園料及び保育料の全額又は一部を補助することにより、保護者負担の軽減の支援を行った。今後も国の動向を見ながら事業を継続していく必要がある。		
評 価	A		

No.11

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	生徒指導推進事業		
事 業 の 概 要	児童生徒が互いの心身を大切に尊重し合える学校づくりや小中学校で一貫した指導体制の確立。また、いじめや問題行動への早期発見・早期対応し、個に応じたきめ細かな支援体制を推進する。		
事 業 の 実 績	・SC、SSW の積極的な活用(定期的・臨時的相談、訪問含む) ・早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談 ・ケース会議の開催 (学校の要請により、SC、SSW、警察、児童相談所、関係各課の参加) ・町民福祉課との情報交換実施 【不登校】 H25 小1人 中23人 H26 小3人 中19人 【暴力行為】 小0人 中8人 小0人 中5人 【いじめ(認知件数)】 小0人 中10人 小4人 中2人		
事 業 の 経 費	1,032千円		
事業の成果と課題	小学校の不登校が増加傾向にあり、その結果、中学校の不登校が比率から考えると非常に多い。このことに対し小中連携を進めるために、2学期に小学校へSSWと指導主事の巡回訪問を行ったり、3学期にSCと中学校養護教諭、指導主事で進学へ向けての情報交換訪問を行ったりしている。また、SC、SSWを十分活用し、個別に対応しており、少しずつではあるが、解消方向に向かっている事案も増えている。 今後も、早期発見・早期対応を図り、個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図りたい。		
評 価	B		

No.12

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	学力向上推進事業		
事 業 の 概 要	学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。		
事 業 の 実 績	・指導主事の学校訪問 ・校内研修(研究授業)への指導・助言 ・授業改善のための指導・助言 ・町学力向上担当者会議(年3回)		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	各学校が研修主任を中心に「学力向上に向けた取組構造図」「学力向上プラン」に基づき、授業や学習活動を行っている。 授業改善では、学校訪問や授業公開において、「めあての提示一言語活動一振り返り」授業の推進を指導した。また、町学力向上担当者会議を年3回開催し、学力向上担当が全国学力・学習状況調査や県学力定着状況確認問題の各学校の結果に対して成果と課題を分析し、次への取組を情報共有する場とした。 このように、町として年2回の検証改善サイクルを徹底して行った。その結果、課題に改善が見られ、町全体として好成績を上げることが出来た。		
評 価	A		

No.13

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	体力向上推進事業		
事 業 の 概 要	体育の授業を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。		
事 業 の 実 績	・「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」を実施 ・町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝大会への参加 ・体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 ・スポーツまつりなど積極的参加 ・学校林を活用した体力づくり		
事 業 の 経 費	— 千円		
事業の成果と課題	各学校で「体力向上プログラム」を作成し、業間体育や昼休み、放課後等を利用して体力向上に取組んだ。敷地内にある学校林を利用した体力づくりや、町水泳記録会、町陸上記録会、町内一周駅伝への参加のための練習により、全校あげて体力向上への取組を行った。体力テストに向けての、正しい測定の仕方、実施の仕方についての指導・助言を行い、結果に成果が見られた。 今後、県トップレベルを維持していくために、体力課題に対する工夫が必要と思われる。		
評 価	A		

No.14

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	特別支援教育推進事業		
事 業 の 概 要	児童生徒一人ひとりの障がいの状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。		
事 業 の 実 績	・町教育支援委員会の開催 ・町校内コーディネーター研修会の開催 ・町幼保小中連携会議の開催(年2回) ・小中教員による幼・保園訪問 ・就学に関わる幼・保園訪問 ・就学時健康診断の実施 ・田布施総合支援学校との連携 ・各学校における特別支援学級設置状況 麻郷小学校:情緒障害 田布施西小学校:知的障害、情緒障害 東田布施小学校:知的障害、情緒障害、難聴 田布施中学校:知的障害、情緒障害		
事 業 の 経 費	997千円		
事業の成果と課題	今年度より、町就学指導委員会の名称を町教育支援委員会に変更した。幼保小中連携会議により情報の共有化を図り、田布施町の教育のあり方について共通認識した。 今後は保健センターと連携を強化し、特に5歳児発達相談の実施方法について協議し、情報を十分に共有しながら、出来るだけ早い段階で就学に向けて相談できる体制を構築していく。 各学校の校内コーディネーターの役割についても指導する必要がある。就学時健康診断での発達検査の通知の仕方に関して、見直す必要がある。		

評 価	B
-----	---

No.15

施 策 名	学校教育の充実	担当課	学校教育課
事 業 の 名 称	キャリア教育推進事業		
事 業 の 概 要	社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。		
事 業 の 実 績	・キャリア教育全体計画の見直し ・1/2成人式、立志式の奨励 ・社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言		
事 業 の 経 費	一 千円		
事業の成果と課題	キャリア教育に対して、社会見学や職場訪問、職場体験が、効果的に実施されている。小学校では1/2成人式が全校で実施され、中学校では「栄光の旗」顕彰式が行われている。 「自分がしたいこと」「自分にできること」「社会が求めていること」の3つの視点で計画立案し、実行するよう助言した。中学校に関しては、「栄光の旗」という立派な式があり立志と捉えている。今後、全員が将来の夢や目標に対しての志を発表する場を設定する。		
評 価	B		

No.16

施 策 名	学校教育の充実	担当課	給食センター
事 業 の 名 称	学校給食センター運営事業		
事 業 の 概 要	児童生徒の心身の健全な発達のため、安全でおいしくバランスのとれた栄養豊かな食事を提供し、健康の増進、体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。 児童生徒が生涯にわたって健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。		
事 業 の 実 績	・給食対象校 小中学校 6校 ・年間給食回数 200 日 ・年間給食 257,466 食 ・給食費収入額 64,934,880 円 ・米飯 週 3.5 回 パン 週 1.5 回 ・地場産週間における地場産食材使用状況 年間平均 82% ・各小学校への学校給食巡回訪問 22 回		
事 業 の 経 費	77, 894千円		
事業の成果と課題	・食事内容が安全で栄養的に優れ、児童生徒にとって魅力的であるように、献立・調理の質的充実・向上に努めており、給食残菜率が低下してきている。今後もこの取組みを継続していく。 ・食中毒や異物混入防止のため食材の点検、調理場の清掃、職員の定期的な細菌検査等衛生管理を継続して徹底していく。 ・老朽化した各種調理機器、備品等を計画的に更新していく。 ・町職員調理員の減少にともなう今後の運営方針は、町職員調理員が3人になるまでは直営を継続していくが、その後の運営を検討していく。		
評 価	A		

事業の点検評価票(社会教育課)

No.17

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	生きがい教室開催事業		
事 業 の 概 要	60歳以上の高齢者が、いろいろな分野の講師、指導者の講座により学習し、多くの仲間と共に地域とのふれあいを深めることにより、生涯学習の推進を図る。各公民館で教室生を募り、教室生自らが講座を計画・立案を行い、定期的(月1回程度)に教室を開催する。(講座運営費 年1,500円を徴収)		
事 業 の 実 績	修了証書受与者 城南公民館29人、西田布施公民館47人、東田布施公民館36人、麻郷公民館34人、麻里府公民館30人 経費内訳 講師謝金、消耗品費等		
事 業 の 経 費	262千円		
事業の成果と課題	各公民館生きがい教室とも30人弱から50人弱の参加があり、教室生が主体的に講義運営に取り組み、講座内容も防災・防犯、健康に関することや、小中学生とのふれあいなど多岐にわたり、高齢者の生涯学習の場として、各公民館で特色ある取組がされている。		
評 価	A		

No.18

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域協育ネット推進事業		
事 業 の 概 要	安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと、子どもと地域の交流の場づくりを推進するため、放課後子ども教室の企画・運営を支援する。		
事 業 の 実 績	放課後子ども教室(9教室) 「東田布施小学校 PTCA」、「西の寺子屋」、「麻里府小学校放課後子ども教室」、「たぶせキッズ教室」、「田布施子ども囲碁教室」、「たぶせ少年少女発明クラブ」、「たぶせ少年少女合唱団」、「たぶせ天体教室」、「田布施中学校放課後学習会」 教育支援員等スキルアップ研修会(3回) 麻里府小放課後子ども教室(7月3日)、西の寺子屋(11月12日) 東田布施小学校 PTCA(2月4日) 県事業「山口県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」 地域協育ネット推進事業(2/3 補助、補助額 627千円) 経費内訳 講師謝金、消耗品費、通信運搬費等		
事 業 の 経 費	947千円		
事業の成果と課題	各放課後子ども教室指導者・支援員が熱心に関わり指導しており、地域の方と子どもとが同じ時間・同じ場所・同じことに取り組むことを通して共感的理解を促し、教育効果はもとより地域の活性化にも寄与している。 教育支援員等スキルアップ研修会により、子どもへのかかわり方、効果的な支援方法を学び、指導者自身の資質の向上及び情報交換による相互の交流を図っている。 課題として、全小学校区での放課後子ども教室の開催(麻郷小、城南小)が期待され、また児童クラブとの関わり、連携の検討が急がれる。 今後の各小中学校のコミュニティ・スクール立上げに伴い、各小中学校に関わっている「田布施町地域協育ネット」の組織の役割が重要となり、組織の充実・改編の検討を早急に行う必要がある。		
評 価	B		

No.19

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	成人式開催事業		
事 業 の 概 要	新成人の自主運営による成人式を開催する。 対象者は、平成6年4月2日から平成7年4月1日までの出生者。		
事 業 の 実 績	実行委員による合併60周年記念植樹 田布施近隣公園 平成27年1月4日10:00～ 成人式行事 開催日時 平成27年1月4日13:00～ 会場 西田布施公民館 対象者 151人 (H25 141人) 出席者 118人 (H25 115人) 経費内訳 賞賜金、消耗品費、印刷製本費、食糧費等		
事 業 の 経 費	434千円		
事業の成果と課題	8月より毎月1回程度、新成人による実行委員会を開催し、記念式典、茶話会などの内容・運営方法を打合せ、盛り上がった成人式を行っている。		
評 価	A		

No.20

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	人権教育促進事業		
事 業 の 概 要	町民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現を目指し、人権教育講座、人権教育推進大会等を開催する。また、広報掲載などの活動により人権教育の促進を図る。		
事 業 の 実 績	人権教育講座開設事業 人権教育学習講座(中央公民館、参加者 延131人) 10月 9日「人間尊重の町づくり～同和問題からのアプローチ」 加藤浩久先生 10月16日「犯罪・非行と社会復帰～少年鑑別所で思うこと」 長谷川雅一所長 10月23日「伝える・つなげる・響き合う～ハチドリのひとしずく」 住田旭昭先生 人権教育推進大会(西田布施公民館、参加者 約200人) 11月29日「子どもの心の中は見えますか～親の心子知らず 子の心親知らず」 渡辺二美子先生 県事業「市町人権教育促進事業」 人権教育講座開設事業(1/2 補助、補助額 115千円) 町広報紙に「私たちと人権」を掲載(年6回) 経費内訳 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等		
事 業 の 経 費	412千円		
事業の成果と課題	人権教育学習講座については、各種のテーマを取り上げ参加者の人権意識の高揚に取り組んでいる。また、人権教育推進大会については、夏休み中に児童生徒の作文・詩・スローガンを募集し、大会において優秀作品の発表・表彰及び記念講演を行い、小学生から大人まで幅広い年代層に人権意識の高揚を図っており、人権教育の推進に寄与している。 課題として、行事の実施・参加で終わらない切れ目ない活動が望まれる。		
評 価	A		

No.21

施 策 名	社会教育施策の充実	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域人権教育促進事業		
事 業 の 概 要	地域の人権教育促進を目的に各自治会から社会教育部長を委嘱し、各公民館で開催する地域懇談会の企画・運営等行う。		
事 業 の 実 績	城南地域懇談会 8月22日 70人(参加者数) 12人(社会教育部長会人数) 西田布施 " 6月22日 60人(") 15人(社会教育部長会人数) 東田布施 " 7月12日 25人(") 22人(社会教育部長会人数) 麻郷 " 6月27日 50人(") 17人(社会教育部長会人数) 麻里府 " 7月13日 43人(") 7人(社会教育部長会人数) 経費内訳 講師謝金、報償費		
事 業 の 経 費	1, 104千円		
事業の成果と課題	地域懇談会では社会教育部長会が中心となり、人権問題を幅広く捉え講師を依頼し行事を開催している。各地域社会教育部長会は3回から8回開催し、地域における学習機会・情報提供の充実などに努めている。		
評 価	B		

No.22

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	地域公民館まつり開催事業		
事 業 の 概 要	10月から11月の時期に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり、文化祭、文化展を開催する。		
事 業 の 実 績	田布施町文化展(中央公) 10月25日～26日 300人(参加者数) 城南公民館まつり 10月26日 1, 200人(") 西田布施文化祭 11月 9日 700人(") 東田布施公民館まつり 11月15日～16日 700人(") 麻郷公民館まつり 11月 2日 1, 200人(") 麻里府文化展 11月 9日 400人(") 経費内訳 補助金 ※田布施町文化展は文化協会への補助金		
事 業 の 経 費	430千円		
事業の成果と課題	各公民館とも、講座の展示、ステージでの発表、小学校児童の出展、婦人会による出店など地域住民の協力を得ながら開催している。出展者等には生涯学習の成果を発表する機会を与え、参加者には多様な芸術文化に親しむ場となっている。 多数の協力者が参加しており、地域住民のふれあいの場となり地域の活性化に貢献している。		
評 価	B		

No.23

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	公民館運営事業		
事 業 の 概 要	公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、また講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。		
事 業 の 実 績	中央公民館 (施設利用状況) 1, 291件、10, 604人(H25 1, 270件、11, 664人) 城南公民館 ホタルまつり(5月)、盆踊り大会(8月)、体育大会(9月)		

	(施設利用状況) 666件、8,563人(H25 726件、11,566人) 西田布施公民館 球技大会(10月)、子ども料理教室(8月)、桜まつり(3月) (施設利用状況) 1,916件、28,447人(H25 2,095件、29,848人) 東田布施公民館 球技大会(9月)、コスモスまつり(10月)、子ども料理教室(7月、1月)(施設利用状況) 1,098件、9,079人(H25 1,349件、13,225人) 麻郷公民館 スポーツ大会(4月)、盆踊り大会(8月) (施設利用状況) 826件、12,412人(H25 843件、13,127人) 麻里府公民館 盆踊り大会(8月)、親子料理教室(8月、12月) (施設利用状況) 397件、4,596人(H25 391件、6,343人) 公民館使用料合計 3,076千円(H25 3,408千円) 経費内訳 公民館運営委員報償、館長・主事賃金、消耗品、役務費、複写機使用料等
事業の経費	17,263千円
事業の成果と課題	各公民館とも地域の拠点となる行事・活動を積極的に行っており、地域の連携を深めている。貸館業務についても適切に運営され、利用者も多く生涯学習の推進に貢献している。また、地域住民の参加による施設の環境整備や花苗・花壇管理を行っており、地域の交流の場としての活動を広めている。
評価	A

No.24

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	公民館施設管理事業		
事 業 の 概 要	各公民館施設の維持管理を行う。		
事 業 の 実 績	施設		
	中央公民館	S43年建築 RC 造2階建	967. 67㎡
	城南公民館	S56年建築 RC 造2階建	610. 61㎡
	西田布施公民館	S61年建築 RC 造平屋建	1, 079. 09㎡
	東田布施公民館	S62年建築 RC 造2階建	613. 93㎡
	麻郷公民館	S55年建築 RC 造2階建	613. 68㎡
	麻里府公民館	S52年建築 RC 造平屋建	360. 85㎡
	竹尾分館	S63年建築 木造平屋建	176. 37㎡
	国木分館	H 元年建築 木造平屋建	237. 99㎡
	小行司分館	H 6年建築 木造平屋建	199. 93㎡
事 業 の 経 費	耐震診断、耐震化工事実施状況		
	中央、城南、麻郷、麻里府公民館（S56年5月以前建築） 耐震診断実施（H22）		
	（診断結果） 中央、城南、麻郷公民館 耐震無、麻里府公民館 耐震有		
	城南、麻郷公民館 耐震補強工事完了（H23）		
	中央公民館 耐震化工事未実施		
	経費内訳		
	光熱水費、電話料、保険料、保守点検管理委託料、下水道使用料、修繕料等		
	工事請負費		
	中央公民館防水改修工事	1, 188千円	
	竹尾分館洋便器取替工事	346千円	
国木分館洋便器取替工事	419千円		
事 業 の 経 費	16, 432千円		
事業の成果と課題	施設管理業務は、各公民館職員により適正に管理されている。 中央公民館は築後47年が経過しており、雨漏りのため陸屋根の一部の防水改修工事を行った。また、耐震化工事は未実施で、耐震診断結果は2階の X 方向（東西方		

	向)のみが Is 目標値「0.60」に若干足らない「0.53」となっている。耐震改修計画又は移転計画の検討が急がれる。 他の公民館についても築後38年から28年が経過し施設の老朽化が進んでいる。分館は木造で、2分館のトイレ各1箇所を洋式に取り替えた。
評 価	B

No.25

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	図書館管理運営事業		
事 業 の 概 要	田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、充実した管理運営を行い、図書館まつりや読書感想文コンクールの開催、移動図書による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動など読書活動の普及・啓発を図る。		
事 業 の 実 績	図書館利用状況 購入冊数 2,077冊(H25 2,320冊) 蔵書冊数 87,875冊(H25 85,793冊) 貸出冊数 87,687冊(H25 85,147冊) 登録者数 13,854人(H25 13,559人) 利用者数 35,727人(H25 35,405人) 移動図書 9箇所を巡回 6,545人(利用者) 10,748冊(貸出冊数) 読書感想文コンクール 10月27日～11月9日 応募作品795点 図書館まつり 2月21日 読書感想文コンクール表彰等 488人(参加者数) クリスマス会 12月20日 「おはなしの会」主催 44人(参加者数) ボランティア「おはなしの会」 10回開催 延333人(参加者数) 読書会「七草」 12回開催 延58人(参加者数) 朗読ボランティア「もやいの会」 24回開催 延109人(参加者数) 点訳ボランティア「ほおずきの会」 46回開催 延201人(参加者数) ブックスタート事業 「ブックスタートパック」を贈呈 93人(4ヶ月乳児) 田布施図書館 H3年建築 RC造2階建 855.23㎡ 施設整備事業 空調機更新工事(1F西) 1,307千円 防水改修工事 3,735千円		
事 業 の 経 費	19,334千円		
事業の成果と課題	図書館の活動については、利用者、貸出冊数も増加しており、また読書活動についても各種の事業により普及促進が図られている。 施設管理では、建築から20数年が経過しており、空調機更新、雨漏り対策、内装補修等の経費が増加している。		
評 価	A		

No.26

施 策 名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事 業 の 名 称	郷土館管理運営事業		
事 業 の 概 要	岸信介・佐藤栄作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、町民文化の向上を図る。		
事 業 の 実 績	郷土館利用状況 入館者数 2,615人(H25 2,636人)		

	企画展 「写真に見る岸宰相と故郷田布施」 11月1日～11月30日 293人(入館者数) 「自由律俳人三羽ガラス、江良碧松、久保白船、種田山頭火展」 2月1日～2月27日 402人(入館者数) 同講演会「瀬戸内の俳人たち」 久光良一講師 2月22日(中央公民館) 75人(参加者数) 特別展 県巡回展「発掘された山口」 6月1日～7月1日 253人(入館者数) 同講演会「考古学から見た山口県の地域性～瀬戸内海編～」 中里伸明講師 6月21日(中央公民館) 35人(参加者数) 田布施町郷土館研究紀要(第15号) 8月1日発行 郷土館友の会(ふるさと民話紙芝居作成) 「かせ繰り田」(第24作) 10月1日 「天寿の松」(第25作) 3月25日 田布施町郷土館 RC造2階建 748.00㎡ 土地 1,209.00㎡ 西日本電信電話㈱より賃借(旧電話交換所事務棟) 賃借料 2,052千円
事業の経費	7,783千円
事業の成果と課題	岸、佐藤宰相の企画展や埋蔵文化財の巡回展等を積極的に開催し、郷土の歴史・文化の研究・紹介などに努めている。 賃借建物は建築から相当の年月が経過しており、また設備についても貸借当初(平成元年)設置の冷暖房設備の不具合やトイレの改修要望など、老朽化が進んでいる。施設の新築、移転について検討する必要がある。
評価	B

No.27

施策名	豊かな文化の継承と創造	担当課	社会教育課
事業の名称	埋蔵文化財調査事業		
事業の概要	国営緊急農地再編整備事業に伴う埋蔵文化財試掘調査及び発掘調査を行う。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。		
事業の実績	南周防農地整備事業に伴う国庫委託事業(委託金 96.87% 39,329千円) 西山・潤田団地調査報告書作成事業 2,000千円 上時貞団地発掘調査事業 15,600千円 中西団地発掘調査事業 12,300千円 石の口団地発掘調査事業 10,700千円 計 40,600千円 単独事業 町内遺跡試掘調査事業 255千円 作業所整備事業 696千円 発掘調査関連事業 11,758千円 計 12,709千円 上時貞団地現地説明会 9月15日 50人(参加者数) 中西団地現地説明会 1月10日 40人(参加者数) 石の口団地現地説明会 1月17日 40人(参加者数)		
事業の経費	53,309千円		

事業の成果と課題	町が行う発掘調査事業は2年目となり、文化財専門員(嘱託)を中心に調査事業を円滑に進めている。 発掘調査事業終了後に現地説明会を開催し、地元住民や関係者の理解を深めている。
評価	B

No.28

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツ推進体制強化事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、スポーツ団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図り、また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成の場を提供し、生涯スポーツの推進を図る。		
事業の実績	スポーツ推進委員 町スポーツ推進委員会 3回開催 (スポーツ推進委員 10名) 柳井圏域スポーツ推進委員研修会(町中央公) 5月30日 33名(参加者数) 県スポーツ推進委員研修会(宇部市) 6月14日～15日 心身障害者協議会ふれあい球技大会で指導 10月13日 老人クラブ連合会レクリエーション大会で指導 10月17日 さくら健康マラソン大会・スポーツまつり・ウォーキング大会・町内一周駅伝大会等で指導・協力 スポーツ少年団 県スポ少ジュニアリーダースクール(光市) 7月31日～8月2日 県スポ少指導者研修会(光市) 9月6日～7日 県スポ少指導者・育成母集団研修会(町センター) 11月8日160人(参加者数) 県認定員養成講習会 11月8・9日、15・16日 17人(町スポ少指導者受講)		
事業の経費	480千円		
事業の成果と課題	スポーツ推進委員、スポーツ団体指導者、スポーツ少年団指導者等が連携し、スポーツ施策の推進に努めている。		
評価	A		

No.29

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	生涯スポーツ推進事業		
事業の概要	全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる 「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、また一人一スポーツを合い言葉に、スポーツを通じて体力を強化し健康の維持増進を図ることを目的に、スポーツ団体、スポーツイベントを支援する。		
事業の実績	総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」(町補助金 400千円) クラブ員数 12団体、313人(H25 289人) 会員親睦交流大会 7月5日 約300人(参加者数) 「田布施町スポーツ少年団」(町補助金 381千円) 団員数 12団体、235人(H25 269人) 結団式 4月29日 約300人(参加者数) 「田布施体育協会」(町補助金 1,370千円) 団員数 14団体、619人(H25 686人) 町内一周駅伝競走大会 12月14日 45チーム(H25 57チーム)		

	「田布施川さくら健康マラソン大会実行委員会」（町観光協会補助） 田布施川さくら健康マラソン大会 4月6日 1,320人(H25 1,606人) 「たぶせスポーツまつり実行委員会」（町補助金 400千円） たぶせスポーツまつり 10月11日 約1,000人(H25 約1,000人) ウォーキング大会 10月11日 92人(H25 88人)
事業の経費	2,551千円
事業の成果と課題	各団体とも団員拡大、自主運営の推進及び団体相互の交流促進に努め、生涯スポーツの振興に貢献している。 また、各団体ともスポーツイベントを円滑に進め普及拡大に努めているが、イベント参加者の固定化傾向がみられ、参加者を増やす魅力ある企画等が望まれる。
評価	A

No.30

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	我がまちスポーツ推進事業		
事業の概要	「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。		
事業の実績	県事業「我がまちスポーツ推進事業」(1/2補助、補助額 300千円) 実施主体 総合型地域スポーツクラブ「田布施スポーツクラブ」 ウォーキング大会 10月11日 92人(H25 88人) 魅力再発見ウォーキング 年19回実施 「ウォーキングマップ」A6版1,000部作成、A4版1,000部増刷		
事業の経費	600千円		
事業の成果と課題	補助事業の最終年(H24～H26)で、昨年度作成したウォーキングマップの各地域のコースウォーキングを「魅力再発見ウォーキング」として開催し、ウォーキングの普及・定着に努めている。 ウォーキングマップをスポーツセンター、各公民館、田布施駅等に配布し、ウォーキング人口の拡大にも取り組んでおり、ウォーキングは生涯スポーツとして徐々に浸透しつつある。		
評価	A		

No.31

施策名	スポーツ・レクリエーションの振興	担当課	社会教育課
事業の名称	スポーツセンター管理運営事業		
事業の概要	指定管理者「田布施体育協会」により、田布施町スポーツセンターの管理運営を行う。		
事業の実績	施設利用状況 第1体育館 17,314人(H25 18,870人) 第2体育館 22,727人(H25 19,887人) プール 1,093人(H25 ー) ※H25 使用停止、H26工事中(仮開放) グラウンド 16,162人(H25 14,589人) 弓道場 3,768人(H25 3,077人) テニス場 2,127人(H25 2,187人) 艇庫 ー (H25 ー) 施設使用料合計 2,569千円(H25 2,111千円)		

	施設 第1体育館 S57年建築 S造平屋建 728.50㎡ 第2体育館 S58年建築 S造平屋建 1,221.00㎡ プール上屋 H26年建築 S造平屋建 914.64㎡ 〃更衣室 S57年建築 RC造平屋建 118.83㎡ 弓道場 S62年建築 木造平屋建 295.64㎡ 艇庫 S58年建築 S造平屋建 447.00㎡ グラウンドナイター設備 H2年設置 8基 (グラウンド 16,358㎡) 指定管理協定(平成20年度から導入) 指定管理者 田布施体育協会 指定期間 平成26年4月1日～平成29年3月31日(3年間) 指定管理料 17,830千円(1年間) 施設整備事業 スポーツセンタープール上屋等改修工事(25→26繰越) 事業費 97,512千円 事業費内訳 プール上屋等建築工事、機械設備工事、電気設備工事、プール本体塗装塗替工事、監理業務委託等 第1体育館排煙窓修繕 410千円 グラウンド用音響設備修繕 286千円 艇庫屋根修繕 201千円
事業の経費	116,404千円
事業の成果と課題	施設利用について、使用料は26年度から体育館照明料を徴収したことから増収になっており利用者数は全体で微増しているが、さらに施設利用を拡大する施策などを検討する必要がある。 指定管理については、貸館業務及び少額の修繕を含む施設管理業務等適正に管理されている。 プール上屋施設については25年度の解体、設計及び26年度の建築工事等により完成したが、体育館等の主な施設は築後30数年が経過しており、計画的な老朽化対策の検討が急がれる。
評価	A